資料3－4

福井大学附属国際原子力工学研究所「原子力防災・危機管理部門」（案）

研 究 分 野 ・ 領 域

- 原子力工学基礎分野
  - 原子力工学基礎部門
- 原子力工学研究開発分野
  - 高速炉工学部門
  - 新型炉工学部門
  - 燃材料工学部門
  - 廃止措置研究部門
- 医学物理・化学分野
  - 医学物理・化学部門
- **原子力防災・危機管理分野**
  - **原子力防災・危機管理部門**

シビアアクシデント評価	福島原子力発電所事故の検証を基に、各種原子力プラントのシビアアクシデント時の現象や燃料ピット内燃料溶融現象等の 解析手法を 高度化し、事故の防止、緩和対策を研究する。
リスク評価	・外的事象（地震、津波等に起因するシビアアクシデント事象）に対 しシミュレーションを取り入れた新しいPSA手法を開発する。 ・福島原子力発電所事故の検証を基に、シビアアクシデント事象におけるベントデータを収集し、外部放出も考慮したレベル3PSA手法を開発する。
耐震・耐津波	福井県嶺南地区の活断層、地質・地盤、海底地形等の特徴を踏 まえた地震動や津波挙動の解析手法、地震・津波による原子力施設の構造・機能健全性評価及び免震・浸水防止手段等に関する研究を行う。
危機管理	原子力災害時の情報伝達・緊急時施設・設備や避難誘導の方法 などの交通・道路等の確保など、工学のみでは解決しえない地域 防災計画、リスクコミュニケーション、クライシスコミュニケーション等の行政に対する政策科学研究 を行う。
放射線計測・防護	・原子力災害時の迅速な線量把握のための空間線量分布の計測方法の開発を行い、効果的な退避・避難のための迅速な汚染分布マップの作成に資する。 ・原子力災害時及び事故後の放射能・放射線に対する中長期的な影響について機構論的な研究を行う。
基準・規則国際化	シビアアクシデント対策を含む規制の国際化に必要な技術基準に関する研究を行う。また、放射線影響の精緻な評価手法を確立し、国 際放射線防護基準の見直しに貢献する。